

News Release

2015年9月14日

太陽誘電：「センサエキスポジャパン 2015」出展のお知らせ

ー 同時開催の「セラミックス&ガラス技術展 2015」にも出展ー

太陽誘電株式会社(代表取締役社長:綿貫 英治、本社:東京都台東区)は、9月16日(水)から18日(金)まで東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催される「センサエキスポジャパン 2015」、「セラミックス&ガラス技術展 2015」に出展します。太陽誘電ブースのキャッチフレーズは「Start! NEXT 太陽誘電が、新たな未来を切り拓きます」です。

近年、IoT やビッグデータなどに代表されるように、センサと機器とをネットワーク化するサービスやソリューションが多数、誕生しています。そのような市場では、従来以上に高精度なセンサや低消費電力な無線モジュールを利用したワイヤレスネットワークが求められています。

太陽誘電は、さまざまなコア技術を融合させたソリューション提案型の商品開発に取り組んでいます。今回、当社が培ってきた無線モジュール技術や微細加工の計測技術、表面処理技術を応用したソリューションを提案します。

ワイヤレスセンサネットワークは、無線モジュールを手がける当社のモジュールを活用し、さまざまな周波数帯や通信規格を選択でき、使用されるシチュエーションにあわせて、最適な無線ネットワークを構築します。光変位センサはナノオーダーの凹凸を短時間で評価できる技術を応用し、0.1 μ m という高精度検出と1,000 μ m の長レンジ検出を両立した光学式のセンサです。簡易かつ低コストを実現し、産業機器、インフラ・建築物、モビリティ、医療・ヘルスケアなどの幅広い市場において、軸トルクや位置検出などに活用できます。また、センサの表面に汚れなどがつくと、ノイズや機能の低下に繋がることがあります。機能性表面処理膜は撥水や撥油などのさまざまな機能を付加することができ、耐摩耗性に優れ、メンテナンスコストを低減できます。

また、電子部品をはじめ、新しいデバイスには、セラミックスなど材料技術の発展が欠かせません。当社は、「素材の開発から出発して製品化を行う」を信条に、常に最先端の電子部品の開発に取り組んでまいりました。同時開催される「セラミックス&ガラス技術展 2015」では、当社の主力商品である積層セラミックコンデンサやインダクタのほかに、圧電アクチュエータを使用したハプティクス技術のデモンストレーションを行います。

記

■ 「センサエキスポジャパン 2015」

日時 2015年9月16日(水)～18日(金)
午前10時～午後5時
場所 東京国際展示場(東京ビッグサイト) 西ホール
(〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1)

■ 太陽誘電ブース

ブースNo. S-27

展示内容

1. WSN(ワイヤレスセンサネットワーク)
2. 光変位センサ
3. 機能性表面処理膜

■ 「セラミックス&ガラス技術展 2015」

日時 2015年9月16日(水)～18日(金)
午前10時～午後5時
場所 東京国際展示場(東京ビッグサイト) 西ホール
(〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1)

■ 太陽誘電ブース

ブースNo. C-30

展示内容

1. 積層セラミックコンデンサ
2. インダクタおよびノイズ対策部品
3. 01005 サイズコンデンサ、インダクタ
4. 圧電アクチュエータ
5. チューナブルデバイス

以上

※「センサエキスポジャパン 2015」(S-27)太陽誘電ブースの出展内容は、当社ウェブサイトの「[イベント情報ページ](#)」にて掲載しています。